

大分県立芸術文化短期大学通信

Epistula

Target
目的を掲げて

Challenge
挑戦する

たかが2年… されど2年！
確かな目的を構築する
“ラーニング・アウトカム”

解明!!
目指す未来
情コミュ
特集

体験 サービス・ラーニング
あなただけの物語が生まれる

すべては自分を知ることから!!

常に目標をキメ、一日一日を大切に過ごすことで、自分の成長がハッキリ見えてくる。

成長する
コツ

何を選んでどう行動したか、その理由を知る!!



未完成

あなたはまだ出来上がってはいません。自分で育つ、という意味では、成長し始めたばかりといっても良い状態です。卒業して、就職するのも何かが「出来る」からではなく、「出来そう」だからです。では「何が出来そう」なのでしょう。

好きこそものの上手なれ!

嫌なことは長続きしません。どこかに喜びがなければ、仕事をするのもただ辛いだけです。もしあなたの興味が広い範囲にわたってあれば、興味を持てる仕事の幅も比例して広がります。それができるのが、短大の二年間、足りなければ購入してもらう二年増やせます。

事務職は天国じゃない。

奥の学生がまだに事務職を志望しています。正確さと忍耐が要求されるこの分野の仕事はその大部分がコンピュータに置き換わっていることを認識してください。そこに求められているのは人間性とは程遠いものです。銀行の窓口業務の殆どがキャッシュディスプレイに置き変わっているのは知っていますよね。

コミュニケーションが鍵!

どんな業界のどんな職種でもあなたが相手にするのは、人間です。ペット用の缶詰を作る仕事でも、購入者は飼い主である人間なのです。人に理解してもらえなければどんな仕事も成り立ちません。意思を伝える能力が重要なのです。言葉だけではありません。服装や態度も含めてメッセージが発せられることを学びましょう。

考える力を身につける

答えがわかっていることなど、少し面白くありません。仕事の面白さは、様々なリスクを考慮しながら、正解にたどり着くことではないでしょうか?自分の頭で考えることの喜びを知りましょう。

カラダで覚える

当事者になって、体験すれば、頭ではなくカラダが情報を記憶してくれます。この記憶は滅多なことではなくなりません。チャンスを逃さず、できることには何でも挑戦しましょう。

学生としての新たな一年が始まる4月は変身のチャンスです。立ち止まるのは早すぎます。卒業に必要な単位なんて関係ありません。本学には、普通大学の大学にはない芸術系の講義がたくさん用意され、他学科の学生にも開かれています。サーブ・レーシングやインターンシップを初め地域の多くのイベントや奉仕活動に参加する機会も数多くあります。

昨年度大分市で実施された「子ども職業体験くわくわくフロンティア」というイベントに参加した多くの小学生は喜ぶように仕事に動んでいました。あなたも同じように働かないのですか?子供たちは何を楽しんでいたのでしょうか?それを発見するために今年のイベントにボランティアとして参加してみてください。

教室での講義は、その内容を最も効果的に伝えられることが実証されているから、そのように設定されています。そこから多くの先輩たちが、多くのことを学んだという事実を忘れないで下さい。

「理解する」ということは、その内容を別の誰かに語ることもできる、ということなんです。キャンパスは、あなたの興味を拡げる様々なシステムやツールの宝庫です。利用しない手はありません。次の一年を有意義に過ごすために今日という一日を、そしてそこから連なる一週間を充実させましょう。

自分の足跡を辿れば、その先に豊かな未来が待っています。

自分の足跡を辿れば、その先に豊かな未来が待っています。

全てのことに意味がある短大の年間や参加可能な様々なイベントや奉仕活動。その一つに主催者が設定した多くの意味が込められています。それを理解する人が重要です。



1 意義が解れば意欲が高まる!

一見エンターテインメントに見えるイベントにも意味があります。大勢の人を一箇所に集める必要があるのです。是非とも伝えたいメッセージがあります。当事者として参加するのなら、そのメッセージの意図をくみ取なければ自分のためになりません。



2 目的達成の成果を見極める。

参加した自分が楽しかったことも成果の一つですが、それだけで満足してはいけません。誰にどのような効果をもたらしたのか、をしっかりと分析することが重要! 見方を変えて、事実を客観的に見つめなおす。そこには、きっと新たな発見があります。



創立20周年記念同窓会

3 自己分析で自分を客観視する。

データに基づいて自分を外側から評価するのが自己分析です。参加したイベントや奉仕活動の分析を参考にして、自分の成長や嗜好を見つめなおす。そこで初めて、得意な分野や未来が見えてくるのです。

未来は“今日の延長戦”。

突然変異は起こらない! 小さな積み重ねが大きな成果を生み出します。日々是精進。

成長する
コツ

まず記録することの楽しさを知る!!



1 目標を積み重ね、大きく成長する。

最初から大きな目標を掲げる必要はありません。「8時間しっかり寝る」でも、「一日腹筋20回」でも構いません。日々の必ずつ成できるものにする! 達成できたら少しずつ上げていけば1年後に大きな成果が!

成果のチェックは4段階

○達成できた、△ほぼ達成できた、△行動できたが未達成、×行動せず
○が並べば、何よりも自分に自信がきます。火曜日から始まっている日々の行動履歴を書き込む時間も決めておきましょう。気をつけないと限りなく怠情になってしまいますよ!
自分を律する!
短大の授業は高校のように毎日同じ時間に始まって、終わるものではありません。例えば午後からしか講義がなくても、平日は同じ時間に起きる!一度リズムを崩すと戻すのは大変です!



2 頭だって栄養が必要! 食事は必ず1日3回。

一人暮らしを始める人が、つい抜いてしまう朝ごはん。そんなことで自宅組と差がついていいんですか?お化粧しながらでもしっかり食べて、間食しない!そして、食べたことのないメニューに果敢に挑戦します!

食わず嫌いは、一生の損!

世界中のどの国よりも日本の食事はバラエティに富んでいます。種類だけでも、うどん、蕎麦、ラーメン、パスタ、ソーメンから冷麺まで、あらゆるものが食べられます。国別に見ても、フレンチ、イタリアン、中国、韓国、アメリカンからメキシカン、タイ、ベトナム、ロシア、ルーマニア発の国の料理が、気軽に楽しめるのに、なんでいつも同じものばかり食べているんですか?どんな機会も逃さず、新たな「味」に挑戦してください。「食の安全」は日本が誇る文化です。アレルギーがない限り、店に出ているもので、危険なものはありません。そこには「発見の喜び」があります。誰も食べないものを売っている人はいません。誰かが望むからこそ、そのメニューがあるのです。安心してパクつきましょう。



1年次に二回実施されている「ポートフォリオ発表会」一人ひとりが語るの、積み上げてきた「成果」です。聞き手がはっきりと認識できる成果を示すことがポイントです。聞く側にも内容にそった質問することが重要!

データゼロで自己分析なんて誰にもできません。人は日々進化します。その進化の過程を、まずきつり記録して、よりよい変化に導いていきましょう。それが第一歩なのです。

行動履歴で自分を振り返る

一週間の行動をしっかりと記録して成長を自覚します。



3 理想は1日7時間。しっかり眠る。

人の体は眠るようにできています。でも寝すぎは禁物!最近の米国の研究では1日7時間が理想的な睡眠時間と言われています。それなら夜中の1時に寝ても8時には起きれますよ!

楽しい時間は早く過ぎる!?

90分の講義はなかなか終わらないのに、2時間の映画はあっという間に終わってしまふ!そんな風に感じるのはどうしてでしょうか?それは講義が「楽しくない」からです。でも、受けないわけにはいきません。それなら、講義を楽しめばいいんです。「それができたら苦労はない」と文句を言う前にちょっと考えてみてください。楽しくないのは理解度が低いからです。先生が何を言っているのかわからないからです。ちょっとだけでいいですから、何を話しているのか興味を持ってみましょう。「そんなバカな!」話の中に一つでもそういうことがあれば、遂に講義は楽しくなります。眠っている場合ではないのです。

情報コミュニケーション学科では、学生一人一人にラファイルを配り、履修表や行動履歴、提出したレポートなどをまとめたポートフォリオとして作成しています。個人評価ツールとして注目を浴びている方法で、2013年度からは、日々の行動をよりきめ細かく記録できるようなシートを作成、二年間の軌跡がより明確に見えるようなシステムを構築しました。

「受験」という「壁」を乗り越えた新一年生はとすると、そこがゴールではなく、新たな出発点であることを忘れてしまいます。貴重な二年間を有意義に過ごすためには、具体的な目標と確かな成果が必要不可欠。必要単位を修得するだけでは、社会人は身につけません。一人暮らしを始めて、自由になった時に、一番大切なのは、自らを律すること。これは戒めること、ではありません。限られた時間を有効に使うことの楽しさを理解することです。努力が報われる時の喜びを実感してもらうことが重要なのです。

効率的に!ということとは「面倒なことを避ける」ことではありません。怠情であることの醜さ、愚かさを身をもって知らなければいけないのです。知っていることが多ければ、楽しみが増えることを実感してもらいたいのです。より豊かな人生を送るためには努力が必要です。私たちのポートフォリオはその努力を可視化します。

社会に飛び出て実感・体感自分を磨く。

サービス・ラーニングは、短大での学習と、地域で行われる有意義な奉仕活動を組み合わせた
教授・学習・省察のための方法論。つまり、実践を座学や省察と結びつけることによって、市民としての
責任を教え、「生涯にわたる地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するものです。

保戸島を撮る

津久見市保戸島で行った写真展が、大きな反響を呼んで10月14日、閉幕しました。学生作品約100点のほか、津久見市在住の写真家・上野福男さんが保管していた昭和30年代の白黒写真も、島民の関心を呼びました。「当時、島にいたお医者さんが撮っていた。歴史を感じさせる」と、上野さん自身も感嘆の声「会場の下見が台風で中止になり、前日しか展示準備が出来ずなくて焦った。島民の皆さんと協力して、楽しい写真展が実現できました」



{01} 竹田食育 ツーリズム研修



竹田市で7月、2日間にわたり「竹田食育ツーリズム研修」が開催され、情報コミュニケーション学科の学生19名が参加しました。食育ツーリズムの取り組みでは全国の前頭を走る竹田で、地域の実情を知り情報発信に役立てることを目的に、農家民泊、生産者との交流やとうきびフェスタでのボランティア活動を行いました。行程の最初からブログを立ち上げ、各自の携帯でブログに掲載。リアルタイムでみんなに感じたことや気づいたことを見ることができるようになりました。



{02}

こども職業体験 わくわくワークランド

11月4日大分青年会議所主催 まちなかこども就業体験「おおいたわくわくワークランド」これは働くことを体験する中で、子ども達の成長を促し、地域社会を担う人材を育成することを目的に初めて企画されたイベント。大分活性化ネットワークを通して学生たちがサービラーニングで参加しました。小学生の子供たちが新聞記者やケーキ職人、ウエイトレスになりきって、実際のお店で働く貴重な経験を多くの学生がスタッフとしてサポートしました。



「おおいた夢色音楽祭」は「まち」全体がステージです。音楽のジャンルも出演者の年齢も、経験も国籍も問いません。「思い」さえあれば、みんなが主催者でみんなが主役。5回目となる今回は10月6日（土）、7日（日）に開催。今年も大分のまちなかに、数多くのストリートステージを設置、たくさんのミュージシャンがさまざまなパフォーマンスを繰り広げました。MC（司会 master of ceremonies）で3名が参加、初めての学生もいて緊張しながらも貴重な体験をさせていただきました。運営ボランティアの学生も街角で様々な人とのふれあいを体験しながら音楽を楽しんでいました。

{04} 夢色音楽祭



森林セラピー トレイル・ランニング

リラクゼーション効果や免疫機能の改善など予防医学的效果が期待されている森林セラピー。用意されたのは、①大分市の最高峰『鍾ヶ岳』の山岳コースと平成森林公園全域を走る、自然を満喫できるバラエティーに富んだコース。②『鍾ヶ岳』の山岳コースからなる源流の森や公園内の自然散策道など、トレイルを中心にレイアウトされたコース。③トレイルランニング初心者や自然をゆっくり満喫したい方にふさわしい、安全で楽しめるという3つのコース。学生たちは、ランナーの様子を、10か所で動画と静止画を撮影。写真は、ワサダタウンで展示され、動画はインターネットにアップされました。



{05}

「何ができる？」と悩んじゃダメ!! ベストな選択を導く、潜在力の探し方。

短大生はまだ半社会人、「今」ではなく、「これから」何ができるか?をじっくり探す最後のチャンス!
可能性は鍛えればまだまだ∞!自分の中に眠っている潜在力を引き出して果敢にチャレンジしましょう。

正しい方向に導いてくれる「好奇心」がキーワード! 夢中になるわけじゃない。でもチヨツチ気になる。そんな好奇心が、あなたの人生を大きく広げる可能性を秘めている。 食べてみたくや味はわかりません。トライアンドエラーは若者の特権! サービス・ラーニングは、一年を通じて、多彩なプログラムを用意して、あなたのチャンスを探ります。百年先の未来を思いつく、大地に木を植える。街頭での募金活動。地球にちよつと優しくしてみる。体を動かして、頭を使って、人と触れ合い、社会に参加する。ポイントは、未知の世界への挑戦です。躊躇わずに進めばきつと発見がある筈です。 二年という就学期間は、高校までとは経験したことのない短さです。新入生の翌年には最上級生となってしまう短大の一年はボンヤリしているとアツという間に過ぎ去ります。それだけに「何をやるか?」という選択には慎重になるかもしれませんが、でも一歩踏み出す「大胆さ」も重要です。「生徒」から「学生」となったのですから、自分の背中をちよつと押して、新たな自分を見つけてください。あなたの未来は、あなたの中にもう芽生えています。 大人と接して、社会を知る。新たな出会いが未来を築く。 先生を除けば最大でも六歳の違いしかなかった小・中・高校時代。実社会には、もっと都市の離れた大人が大勢いて、それぞれの世代が多くの役割を担っています。 いずれはあなたもその一員になる

そんな大人社会を体験できるのもサービス・ラーニングの魅力の一つです。見学するのはありません。役割を担って参加するのです。そのために必要なのが「目的意識」! 「大分市の中心街で二万七千個の風船を飛ばす」毎年夏に行われるこのイベントに参加した多くの学生が大半の時間を費やすのは風船を膨らます作業です。ボンベに入った空気がより軽いガスをひたすら風船に送り込むことは何も考えずに行える単純なものかもしれません。でも百人がかりで六時間を要します。人件費だけでも時給七〇〇円なら、四二万円にもなってしまう。夜空に上がって、数分後には見えなくなってしまうものにそれほどの価値があるのか?と考えることが重要なことです。暑い夏の夜、中心街の車道に集まった多くの人が、舞い上がる色とりどりのたくさんの風船と一緒に見上げるこの意義を考えると、千人以上の人が同時に「きれい!」と思うことの意味を考えます。その中には、三歳の子供も九〇近いおじいちゃんもいるでしょう。家族で来ている人も一人でぼんやり見上げている人もいるかもしれません。でも皆が、同じ空を見上げ、同時に「きれい!」と感じることが大切なのです。誰も、誰か風船を膨らませたか?なんて考えもしません。でも誰かが、やらなければ、その美しさは生まれなかつたのです。それはもしかすると、お金には換算できない行為なのではないでしょうか? キーワード: チェック 省察(せいさく) 何? 自分自身を振り返り、その長しあしを考えると、「自分の行動を省察せよ!」

CASE 4 気になる だけど、試せない。

あなたの前にも多くの先輩が経験している活動です。あなたにできない苦衷がありません。重要なのは「気になっている」という事実です。「絶対」でもなく、「どうしても」でもない。その「何気なさ」の中に、未来の可能性が潜んでいます。その扉を開けるきっかけが、サービス・ラーニングなのです。

冒険したい、でも... 決められない。 新しいことに挑戦するのにも勇気が必要です。何かきっかけが欲しいのは皆同じ。そんな冒険に取り組みの単位が異なるのです。打算的かもしれないけど、でも、トライしなければ何も始まらないの。一つ一つの活動に意味があるからこそプログラムに入っているのです。

CASE 3 後一歩踏み出すことを、 躊躇う。

乗り越えてみれば立ちだかっていた「壁」が、それほど高くなかった。そんな経験は誰にでもある筈です。あなたを待っている様々な活動は、それぞれ大きな意義を持っています。まず参加して、物足りないと感じたら改善するチャンスも訪れます。躊躇っている場合ではありません。扉を開く時です。

CASE 2 良いことだと思っけど、 なんか恥ずかしい。

ボランティアという言葉に「偽善」を感じてしまうのはあなただけではありません。一人で参加するのは勇気のいることです。でも、友達と一緒にしよう。街頭で大きな声を出して募金を募るのは大変です。でも二人なら、あなたの声がきつと誰かを救うのです。

CASE 1

入りにくい スポット。 一度は訪れたいと思っけていても、入るのにはちよつと気遣わなければならない。見学するのはなく、当事者として関わってみたいスポット。生放送のスタジオやイベントの舞台裏。役割を担ってみたい入り口。そんな場所にあるあなたを導いてくれるのがサービス・ラーニング。きつと、同じ景色が違って見えます。

潜在力から
ベストな選択が
できる!

潜在力を見つけるヒントは、ちよつと気になる好奇心! いつものなら選べないけれど、機会があれば試してみたい! わざわざ自分で行く気はないけど、連れてってくれるなら!



情報コミュニケーション学科が提供する ラーニング・アウトカム「学習成果」

【学習成果】学習者がその所属する教育機関で、一定の期間内に獲得すべき知識、スキル、態度として示されるもの。

2012年、創立20周年を迎えた
情報コミュニケーション学科では、
二年間の短大生活で獲得すべき目標
をまとめました。全てあなた自身の
「社会人力」をアップするものです。

1
one

豊かな教養

芸術と文化を学ぶことを通して、多面的な見方と感性を身につける。



人間の心身や社会の仕組み、環境などに関する学習を通して、現代社会の諸問題に自分なりに取り組もうとする態度を身につける。



2
two

確かな専門性

パソコンやメディアを活用するための基本的スキルを身につける。



人間の行動を理解し、的確にコミュニケーションをとることができる。



社会における諸問題を、社会的な理論や概念を用いて分析・把握することができる。



メディア、情報科学、心理学、社会学の中から自分の専門分野を持ち、その分野における研究方法を身につける。



3
three

社会人としての基礎力

サービスマーケティングなどの体験や学習を通じて、社会や集団に積極的に参加し、自己の役割を見つけ、貢献できる。



自己や集団の抱える課題を論理的に分析し、自分の意見や考えを持ち伝えることができる。



4
four

国際化・情報化に対応する力

基礎的な外国語運用能力があり、国際社会における諸問題に関する基本的な理解と関心を持っている。



情報通信機器及びソフトウェアを使いこなし、文書作成やプレゼンテーションをすることができる。

5
five

自己表現力

他者に分かり易く伝えるためのスピーチとライティングの技術を身につける。



情報を文章・画像・映像などさまざまな形式で発信する技術を身につける。



新たな旅立ち! 情報コミュニケーション学科特集

Epistula

vol. 30

 大分県立芸術文化短期大学
OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

Media
Information
Psychology
Sociology

一週間単位で自分を記録

目標を積み重ねて

気付かなかった

日々を検証 * 自分を知る * 適性を発見

あなたの将来を必ず明るくします。

Selfanalysis by Portfolio

ポートフォリオ自己分析

Four Courses

4つのコース

目的★達成

社会体験